

「自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール」記入方法

(別紙2の2)

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール							
No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話し合った内容	外部評価	記述
1. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた、事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない				
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人のケアや支援の方法などを共有し、事業所職員が地域の一人として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない				
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない				
4	市町村との連携	市町村担当者や日頃から連絡を密に取ったり、事業所の実際やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を深くよく築きあっている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	1			
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険指定基準における禁止の対象となる具的な行為」を正しく理解しており、実際の施設を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない		2		
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止保護法について学ぶ機会を持ち、利用者の宅や事業所内での虐待が見過ごされるような注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない				3
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない				

① 自己評価を記入

サービス内容について、事業所で振り返りを行い、「自己評価」A～Dより選択。補足事項があれば「記述」欄へ記入してください。

② ①の内容を運営推進会議で意見を頂き「運営推進会議で話し合った内容」欄に記入するか、もしくは「外部評価」A～Dから選択してください。

斜線部分は記入不要です。

③ 全体に対する補足事項があれば「記述」欄へ記入してください。

※記入後は、事業者で公表を行って下さい。また、1部を介護長寿課へ提出してください。